関西部会　2026 年度部会研究会

----------4 月部会研究会----------

【日時】2026 年 4 月 18 日(土) 13:30～17:00

※13:00～13:30 に，部会理事・幹事による役員会を開催

【会場】同志社大学今出川キャンパス良心館 3 階 305 教室

【報告者および報告論題】

コーディネーター・セッション

テーマ名: 「テクノロジーの進化がもたらす主体行動と顧客体験の変容」

テーマの趣旨：生成 AI、センシングデバイス、AR/VR、ビッグデータなどのテクノロジーは急速に進化しており、それらのマーケティング領域への導入も進んでいる。このようなテクノロジーの進化が主体（企業・開発者）の行動にどのような変容をもたらし、また顧客にどのような新たな体験をもたらすかについて 4 名から報告を行う。

第 1 報告は、生成 AI の開発業務への導入による開発行動の変化について、AI 生成情報と開発者との対話の観点から考察する。

第 2 報告は、高等教育機関におけるデジタル教科書の導入において促進された、サービス享受者である学生の「学修」における行動変容に着目する。グレード制で生じる競争原理の中でも、自律的な学修者を中心とした共創コミュニティが構築される過程を考察する。

第 3 報告は、最先端テック・カンファレンス CES （2026）の報告をもとに、従来的なビジネス概念を超え、様々な新しい現実へのトランジション（変容的移行）を確認する。

このトランジションを捉えた上で、マーケティングのあり方の変化・変容を次の 2 つのキー概念から辿る。

①テクノロジーナラティブ（テクノロジーが持つ世界観としての語り）、

②戦略的オファリング（自社単独ではなく、異なるアクターとの組み合わせ）

その上で、

（3-1）報告は、 最先端テック・カンファレンス CES での先端テック企業の事例および AI の動向について報告する。

（3-2）報告は、ビジネス・エコシステムにおけるトランジションを取り上げる。

13:30～13:35(5 分)

本日の概要

廣田章光（流通科学大学 商学部・近畿大学 デザイン・クリエイティブ研究所）

13:35～14:20(報告 35 分、質疑 10 分)

報告(1)

「「言われてみれば」を誘発する AI 生成情報と開発者の対話」

報告者：廣田章光（同上）

14:25～15:10(報告 35 分、質疑 10 分)
報告(2)
「デジタル教科書導入と学修行動の変容」
報告者：瀬良兼司（日本大学 商学部）

休憩（10 分）

15:20～15:55(35 分)
報告(3-1)
「テクノロジーナラティブと戦略的 Offering Ⅰ　-先端テック企業の事例と AI の動向から」
報告者：朝岡崇史(株式会社ディライトデザイン代表取締役・法政大学客員教授)

15:55～16:20(25 分)
報告（3-2）
「テクノロジーナラティブと戦略的 Offering Ⅱ　-先端テクノロジーによるビジネス・エコシステムの移行」
報告者：森一彦（京都先端科学大学 国際学術研究院）

16:20～16:40(20 分)
質疑

16:40～16:50(10 分)
事務局より案内

----------6 月部会研究会----------
【日時】2026 年 6 月 20 日(土) 13:30～17:00
【会場】大阪駅前第 2 ビル 6 階　大阪公立大学文化交流センター
【報告者および報告論題】
コーディネーター・セッション
テーマ名: 「マーケティング・チャネル研究の新展開」
コーディネーター：崔容熏（同志社大学 商学部）

13:30～13:35(5 分)
解題
「マーケティング・チャネル研究の新展開」
崔容熏

13 時 35 分～14 時 35 分（発表 40 分、質疑 20 分）
報告(1)
「国際流通におけるチャネル投資と成果：リレーショナルビューの視点から」

報告者：石井隆太（立命館大学 経営学部）・白石秀壽（鳥取大学 地域学部）・John Cadogan（University of Leicester School of Business）・菊盛真衣（立命館大学 経営学部）

14 時 40 分～15 時 40 分（発表 40 分、質疑 20 分）
報告(2)
「消費財製造業者によるチャネルの変更」
報告者：高田英亮（慶應義塾大学 商学部）

休憩（10 分）

15 時 50 分～16 時 50 分（発表 40 分、質疑 20 分）
報告(3)
「チャネル管理と投機：延期－投機モデルの混合研究」
報告者：久保知一（中央大学 商学部）・白石秀壽（鳥取大学 地域学部）・松田敦樹（中央大学大学院商学研究科）

16:50～17:00(10 分)
事務局より案内

----------7 月部会研究会----------
【日時】2026 年 7 月 18 日(土) 14:00～17:00
【会場】大阪公立大学文化交流センター ホール(大阪駅前第 2 ビル 6 階)
【報告者および報告論題】※日本広告学会関西部会との合同開催
14:00～14:05 本例会の趣旨

【日本商業学会 関西部会セッション】
14:05～14:35 (報告 20 分、質疑応答 10 分)
報告(1)「企業の社会的無責任活動の文脈におけるブランド―旅行関係の解明」
報告者:鍾　萍（ショウ　ヘイ）(立命館大学大学院)

14:35～15:25 (報告 30 分、質疑応答 20 分)
報告(2)「カスタマー・ブランド・エンゲージメントの形成過程と醸成プロセスの検討」
報告者: 髙橋広行(同志社大学)

15:25～15:40 休憩

【日本広告学会 関西部会セッション】
15:40～17:00
報告「作り手情報の訴求内容が消費者反応に与える影響：表層的情報と深層的情報の比較」
報告者:西 大輔（近畿大学）

----------9 月部会研究会----------

【日時】2026 年 9 月 19 日(土) 13:00～17:00

【会場】大阪駅前第 2 ビル 6 階　大阪公立大学文化交流センター

【報告者および報告論題】

13:00～13:30

院生セッション

「マーケティング研究におけるサプライヤー選定：系統的レビューと今後の研究課題」

永井雄一（同志社大学大学院）

コーディネーター・セッション

テーマ名: 「市場創造戦略を考える」

コーディネーター：高嶋克義（追手門学院大学）

13:35～14:10 (発表 35 分)

「市場創造戦略を考える：メンタルモデルとビジネスモデルの構築」

高嶋克義（追手門学院大学）

14:10～14:45（発表 35 分）

報告(1)

「空飛ぶクルマ市場の創造－SkyDrive の事例」

報告者：薄井健（帝塚山大学）

14:45～15:20（発表 35 分）

報告(2)

「球磨焼酎における市場創造－豊永酒造の事例－」

報告者：関隆教（小樽商科大学）

休憩（10 分）

15:30～16:05（発表 35 分）

報告(3)

「ユニクロの動的市場創造プロセス－Market Shaping 理論に基づくケーススタディ－」

報告者：金雲鎬（中央大学)、東伸一（青山学院大学)、横山斉理（同志社大学）

16:05～16:55（50 分）

各報告に関する質疑応答とディスカッション

16:55～17:00(5 分)

事務局より案内

----------11 月部会研究会----------
【日時】2026 年 11 月 14 日(土) 13:30～16:30　※16:30～17:00：部会理事・幹事 役員会
【会場】大阪駅前第 2 ビル 6 階　大阪公立大学文化交流センター
【報告者および報告論題】
コーディネーター・セッション
テーマ名: 「進化する地域ブランド」
コーディネーター：日高優一郎（立命館大学）

13:30～13:40
解題：日高優一郎（立命館大学）

13:40～14:30（発表 50 分）
報告(1)
「世界三大織物ブランドの大島紬のブランドらしさの生成」
報告者：滝本優枝（近畿大学）
概要：本報告では、世界 3 大織物の 1 つとして名をはせている大島紬について、単なる一地域の紬織物としてではなく知名度ある人気紬ブランドとしての形成と発展、
そして現在の衰退（にみえる）状態までをオートポイエーシスの視点から読み解く。

14:35～15:25（発表 50 分）
報告(2)
「地域ブランド形成における偶発的な合意形成 ―備後府中焼きの事例―」
報告者：兎内祥子（広島経済大学）・細井謙一（広島経済大学）
概要：本報告では、広島県府中市の備後府中焼きの事例を通じて、地域ブランド形成における合意形成のプロセスを検討する。
特に、地域活性化の取組みの中で、想定外の出来事や多様な主体の協働を通じて、備後府中焼きが地域のシンボルとなっていく過程を考察する。

休憩（15 分）

15:40～16:30（発表 50 分）
報告(3)
「「米」で栄えた商店街を伝える「米米惣門ツアー」：関係性の構築を通した地域ブランドの形成」
報告者：藤田健（山口大学）
概要：本報告では、熊本県山鹿市下町商店街の下町惣門会が実施する「米米惣門ツアー」のブランドの事例に注目し、地域ブランドの形成における寄り添う力について議論を深める。

【役員会】
16:30～17:00